

風水害・台風

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

**大雨情報をキャッチ！
こんなときのわが家の安全対策。**



■ 大雨の場合に気象台が発表する防災気象情報

大雨注意報

警報になる可能性がある場合はその旨
予告

大雨警報

大雨の期間、予想雨量、
警戒を要する事項
など示す

大雨特別警報

数十年に一度の大雨と
なるおそれ大きい
ときに発表

土砂災害 警戒情報

土砂災害の危険度が
更に高まった
場合に発表

記録的 短時間大雨情報

数年に一度の猛烈な
雨が観測された
場合に発表

雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

10mm以上～20mm未満	20mm以上～30mm未満	30mm以上～50mm未満	50mm以上～80mm未満	80mm以上～
雨の音で話し声がよく聞 き取れない。	ワイパーを速くしても見 づらい。側溝や下水、小さ な川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起き やすくなり危険地帯では 避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出す る。土石流が起こりやすい。 多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の 発生する恐れが強く、厳 重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

10m/秒以上～15m/秒未満	15m/秒以上～20m/秒未満	20m/秒以上～25m/秒未満	25m/秒以上～
風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	風に向かって歩けない。 転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転 倒する。風で飛ばされた物で窓ガ ラスが割れる。	立ってられない。 屋外での行動は危険。 樹木が根こそぎ倒れはじめる。

台風

(平均風速:m/秒)

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。
台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速 15m/秒 以上の半径	強さ	最大風速
大型 (大きい)	500km 以上～800km 未満	強い	33m/秒 以上～44m/秒 未満
超大型 (非常に大きい)	800km 以上	非常に強い	44m/秒 以上～54m/秒 未満
		猛烈な	54m/秒 以上

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生
します。発生の予測は比較的困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害を
もたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ◆ ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- ◆ 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- ◆ 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- ◆ 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- ◆ 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- ◆ 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- ◆ 非常時持出品を準備しておく。
- ◆ 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備する。

常に気象情報に
は、注意しておき
ましょう！

